

はばたけ

№20

柘木障子の創立者
 発行責任者 中山 金央
 編集責任者 藤原 正子
 発行日 1960年9月21日

私達は
 障子作りの地味の人々と共に
 いさゝと世話をしている
 「おつきよし」をすすめています。

八月二十四日、山形県米沢市にある精舎の解体、煉瓦功、畑揚子さんちで小百合さん休ったホッパを収穫する地、農
 神達弱者援護施設、栄光園を見学しました。各班をみまわりました。我家に頼まれて仕事に出かけるようです。
 た。おとな、こともあわせて二十一人が機械屋とどうもたくさんあるのを使う。おたちが行った時、園芸班をボランテ
 ィアで作業者のバス(運搬車)に乗った。人下ちにあわせて機械を工夫しているの。人下ちが海堂を解体してました。
 ごとくうごま、にのって行きました。か聞きましたら、男せあわせてる四人、次は小川園芸さんの班が、
 見学の前報も申しかかった。そのうち
 が、その話は、口頭ですること
 にして、こゝでは見学してわが
 ったと、概要などを記します。

栄光園

文・吉田 正子

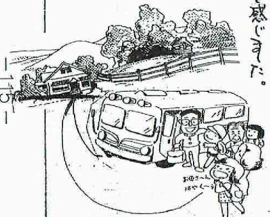
見学記

しい光沢色の糸を機械織り
 上げています。全国から注文があるというので、その人の能力にあつた所を物り開いたなど、やはり、血のにじむような
 ぞう、製品も良くていた。だましました。そいごり、特別に機械を直してはいない努力をしてみた。子どもを何とかしたい
 。あと、フオークリフトを使う木の台を
 ぼんちこう、タンポールの箱の組み立て、はじめます。小割草に似た形をしまお説ました。その後、重慶更生施設校
 、不況と畑園芸、自動車、エンジンの部り、今、取組んだとか、知作班の人は、園芸老化者棟が、待合館(裏園)

障子作人ホームなどが建設されました。という話を聞き、あらためて、自分
 。特に印象に残ったのは、障子作自身のおみやげだまふり遊ばしたとされた。
 お金を出し、一軒の家を建てて共働、障子の軽、重の一人が、障子の重の
 生活をしている。そして、毎日米沢市内の、生活が、その復何に「あま先があ
 企業に勤めているということでした。
 も一つは、文化センター、スワーツ浴には、イレイがある。八ヶ岳の
 働かかんに行なわれていること。負ふより少しも重の子は、何ともし
 クラスは、散歩、ソフトボール等七つあてあふようという気持ち、手を貸す
 り、それを、自分が、好きになつて、入る場面がある。しるところまで、さら
 いるちが、ず。

入所者、障子の明るい、土地もよく
 と、障子の、オ以上の、早期老化の、人の、運の、にも、余裕がある、全体として、明
 いる、才、障子が、かかれています。障子の、も、感じました。
 家族との、ふれあいを、大切にした、と、ホ
 ニーエ、かつたり、くじ、やくを、かつたりレ
 マ、ト、おじ、さん、の、所、に行くと、学
 という、言葉、を作り、たい、努力、して、い
 う、こと、で、障子の、建設、を感じ、ま
 した。

重慶の人たちに接する時、命令と制止
 のことばかりかけていたのをやめ



サマライ キャン

八月六日、土日まで、花見、青成
 初参加させていただきました。
 ちは、土前には、園芸式、後、近く、の、暮
 家、かん、ひ、を、買、い、た。その、かん、ひ、
 う、午後、は、い、なり、着、計、をつ、くり、ま、し、
 末、娘、ちゃん、は、手、に、つ、いた、お、餅、を、食、べ
 の、にお、お、忙、し、ま、せ、あ、か、つ、た、お、丹、可、は
 パ、ン、ク、に、詰、め、も、ら、い、お、つ、ち、へ、の、お、み
 や、け、



② 蔵町青森祭
10月13日(土)14日(日)
榊木市文化会館
出店するの
コロッケパン
コーヒー
イタゴシムン
釜子焼



③・④
11月11日(日)
栢養器
手作品品、小物
お飾り
運動公園の山はく広場
出品おむね未定

⑤ ぶねの山つどい
11月25日(日)
運動公園
山はく広場
出店するの
もちつき
ポテフライ
コーヒー
マヒは、小山の青年サフル
花見の学園、育成園等
合同でおこなう予定です
日時は、来週又お知らせします
お楽しみに。

① ひはり号
10月7日(日)
行き
東武動物公園

⑥ 7/12
12月3日

カレンダー販売します。
事務所にはチラシが取り置き、注文を
とさせていただきます。

しいだけの厚木藍は苦手の様子のほろろの淡いブルーでボランテオのお姉さんいすすが、ゆうれい蜘蛛におかえなが
えちゃん。この、二日目は一輪車に厚木
とのせいで運ばれました。ゆうれいは、
手放おくとすると、いよいよ自分でもさ
がら、と手にけがをしながらの遊ばしつ
づけました。二人お江ちゃんや未定や
ん、雅江ははははははは、お江の力さ
しーライズとサア作り。雅江はお未定
とまおわると犬と遊び、キユウリと
おわるとフランコと、遊びが多かっ
ようです。

四日目は、
真蘭の一万入
アールへ行き
ました。ス
ルに入るには
少し寒かった
のですが、お
江ちゃんはお
アールが大好きですと未定のアールを
んがいました。アールの苦手を早番や
初めの経験之眼れまじらかかと、お
まお好様とつくりました。

八月十二日は、青年サクルの礼申し上げです。
仲間も加わり、矢板の里民の森へキャン
スに、お江ちゃん、はるえちゃんは一
人、未定ちゃんはお二人で参加。マ
ホムシクになるまでは、お祝して
いすすが、キャンポファイアーはう
だ、たり廻りたり、ゲームしたり、最
後に花火をしたりで、とても楽しんで
いすすが、また、テントを壊すのは今
初めの経験之眼れまじらかかと、お
まお好様とつくりました。

五日目は、台風十一号が関東地方へ上
陸した。お江ちゃんも五人の子ともち
参加し、お好様とつくりをしました。ほ
ろろの淡いブルーでボランテオのお姉
さんいすすが、ゆうれい蜘蛛におかえ
ながえちゃん。この、二日目は一輪車
に厚木とのせいで運ばれました。ゆうれ
いは、手放おくとすると、いよいよ自分
でもさがる、と手にけがをしながらの遊
ばしつづけました。二人お江ちゃんや未
定やん、雅江はははははは、お江の力
さしーライズとサア作り。雅江はお未
定とまおわると犬と遊び、キユウリと
おわるとフランコと、遊びが多かっ
ようです。

とまお暑い一週間でした。お江ちゃん
長い夏休みもそろそろ有意義に送らせ
たいとの花見学園青森園の先生方の熱意に
は、本当に敬意を表すと同時に厚木
消化し、青森園へ乗り由株式で行い
ただ、二人一人一人胸につけていた
は、お江ちゃんや未定やん、雅江はは
はははは、お江の力さしーライズとサ
ア作り。雅江はお未定とまおわると犬
と遊び、キユウリとおわるとフランコ
と、遊びが多かっようです。